

# すぎのこだより



## 目次

- 2P・3P・4P・5P 【特集】  
～各事業所の新年度の抱負～
- 5P みんなの部屋①
- 6P 【本部】  
「力を結集し難局を乗り越えよう」
- 7P 【職員関係】・辞令交付式  
・職員リレー ・みんなの部屋②
- 8P 【守る会】  
【事業報告】心のバリアフリーイベント  
【ボランティア・寄付関係】

【社会福祉法人すぎのこ会】

法人ホームページ

<http://suginokokai.or.jp>

リニューアルしました。  
ぜひご覧ください！



# 《令和2年度 各事業所の抱負》

## もくせいの里

早く開花した桜を楽しめず心配と自粛の令和2年の春、10年以上尽力いただいた異動と退職(寿退社)の職員とのお別れも、多大な貢献に感謝しつつも送別会は簡素化となりました。4月からの新年度、新たな職員が加わり、今取り組むべきことを協力し精一杯努力している真っ最中です。

緊急事態宣言を受け、事業及び活動の休止・制限をお願いしておりますが、新型コロナウイルスが収束した際には、休止・自粛の事業を再開し、余暇活動とご家族様とのイベントが再開できるよう準備をいたします。皆様の心からの笑顔が沢山見ることが出来る日が来ることを信じて、職員一同努力してまいります。

総合施設長 諸岡 泰



## 包括支援事業所すぎのこ

相談支援専門員やケアマネージャー、ホームヘルパーを配置し、お子様から障がいのある方、高齢者の方まで、お一人お一人の「〇〇したい!」「〇〇をやってみたい!」という思いや、ご家族の思いに丁寧に寄り添いながら、トータルな相談支援、在宅サービスを提供いたします。

サービスのご利用についてお考えの方や、ちょっと分からないことを聞いてみたいという方がいらっしゃいましたら、ぜひお気軽にご相談・お問い合わせください。

支援主任 武澤 和輝



## ひのきの杜

ひのきの杜の2020年の目標は、『一心』です。長年の夢であった全室個室に向けた施設整備に着手する重要な年であることから、職員はもちろんのこと利用者・保護者の“心(想い)を一つ”にして、新たな施設を創り上げていきたいと考えています。

くしくも新型コロナウイルス感染拡大を受けて、自分だけでなく家族や仲間の命を守るために、心ひとつに、ONE TEAM(ワンチーム)となって施設内感染の防止に努めているところです。明るい未来を想像しながら、「今できることをみんなで」取り組んでまいります。

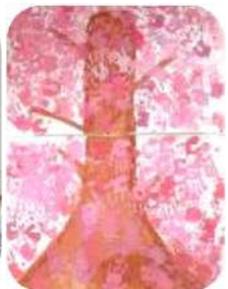
施設長 岩崎 好宏



## ひのきの杜共生

新型コロナウイルスの影響があり、いつも通りの生活を送ることが困難な状況が続いています。外出自粛や恒例行事が中止となる中、今できることを実施し、利用者さんの安全確保と感染防止に努めてまいります。

今年度は、新たに4名の職員を迎えることができました。心ひとつに、日々の支援を丁寧に積み重ねていきます。そして、利用者さん、職員の何気ない「笑顔」にほっとする瞬間を大切に過ごしたいと思います。施設長 猿山 幸恵



## みすぎの郷

みすぎの郷は令和2年6月で開設5周年となります。これまでのあいだ、地域の皆さんとも交流の機会が多くなってきたことで少しずつではありますが溶け込むことができたのではないかと振り返ります。多くの人が集い、再会や会話を楽しむことが当たり前の日常であること、みすぎの郷がその拠点となることを目指し職員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。



施設長 木澤 貴



## やまと

窓の外から聞こえる、子ども達の元気な声。高齢者の皆さんは、ご自身の子育てや、お孫さんを思い浮かべます。複合型施設ならではの微笑ましい様子です。これまでも各事業を超えた活動時間を設けてきましたが、今年度は例年以上に枠を超えた大きな交流機会を提供したいと考えています。また栃木東中学校の生徒さんとの交流会や、やまと地域交流市など地域の方々との交流も継続していきたいと思ひます。



今年度も多くの方々が気軽に遊びに来ていただける、地域に開かれた施設を創っていきたく思ひます。新型コロナウイルスの影響で不安な毎日が続いていますが、元気で明るい支援を通し、皆さんの生活の「安心」に少しでも寄り添えればと思ひています。

支援主任 膝附 諒



## グループホーム花水木

平成30年度より進めているGH再編を引き続き実施し、暮らしの場として、利用者が安全に互いの個性を受容しながら、小集団の中に自分の居場所を感じられることが当たり前の日々を送れるような環境を目指していきます。

また、在宅の方に向けてGHの魅力を発信していきたく思ひています。親元を離れ、地域の中で生活していくことで、自分らしさを再発見しつつ新たなことを身につけ、将来への安心感につなげていただけるよう支援していきたく思ひています。今年度は、新たに職員1名を迎えました。笑顔とフレッシュさを忘れずに支援していきたく思ひます。

総括主任 戸田 朱織



## わたすげ

共同生活援助わたすげでは昨年度よりもっと充実した生活をと思ひ、様々な外出や旅行を計画しておりますが・・・コロナウイルスが早く終息する事を願うばかりです。充実した日々を過ごせるように工夫していきます。 所長 佐々木 敬之



## 愛晃の杜

愛晃の杜開所15周年を迎える大きな節目の年です。予定していたイベントは延期となりましたが利用者様職員一丸となって新型コロナウイルスに打ち勝ち20年・30年とつなげていきたく思ひます。

支援主任 金子 綾乃



## のあの杜

コロナウイルスによる休校の中、迎えた新学期。「早く学校に行きたいなー」と話しながら、学校に行ける日を楽しみにしている子供達。

今年度も学校と連携を取りながら、明るく楽しく活動していきます。

課長 高橋洋子



## すぎのこ

新型コロナウイルス感染による地球規模の危機的状況下で、新年度の幕が上がりました。利用者、保護者の皆様には、利用自粛のお願いが年度初めの言葉になってしまい残念な思いです。さて、令和2年度の事業計画として4つの重点目標をあげました。一つは「すぎのこ再編整備計画の樹立と実行」。二つ目は「地域で支える福祉システムの構築」。三つ目は「意思決定の支援とサービス評価によるサービスの質の向上」。四つ目は「地域における公益的取組」です。とりわけすぎのこ再編整備については、日中利用しながらの整備になるため、十分熟慮して進行しますので、利用者、保護者の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



所長 長谷川 孝範



## あすなろ

放課後等デイサービスの抱負は、現在は限られた状況ではありますが、その中で利用児みんなが毎日楽しく、安心して過ごせるような場所にする事です。職員同士が協力し、療育を行っていきます。生活介護の抱負は、利用をして頂く中で一日の生活リズムを少しでも整えられるよう身体を動かすことを中心に活動を提供していきます。日差しをたくさん浴びてのウォーキングはさわやかな気持ちになりますよ。

今年度も子供から大人まで成長に合わせた、それぞれの個性を大切に療育・支援を行なっていきます。

支援主任 武澤 彩希



## ひまわり

ひまわりの今年度の抱負は「今、出来ることで楽しく過ごす」です。

コロナウイルスの影響があり、限られた中での療育となりますが、その中でも一人ひとりに合わせた楽しさが提供できるように職員一丸となって頑張っていきたいと思ひます。

昨年度行ったサービスの自己評価では、子ども達はひまわりへ通う事を楽しみにしているとのご意見を多数頂きました。これからも、ひまわりが楽しみの場所であり続けられるように、常に笑顔で一人ひとりに合わせた支援を行っていききたいと思ひます。 総括主任 松岡 優介



## あすひ

あすひは、新年度より新規利用者1名、新任職員を1名、異動者を1名加え、新生あすひとして活動をしています。

新生あすひでは、すぎのこ会の理念である、「利用者が生きがいのもてる施設」

「地域と密着し、地域社会と交流のもてる施設」、「一貫した福祉を保障する施設」を基本とし、利用者の方々が、笑顔で安心して過ごせる事業所を職員一丸となって、目指していききたいと思ひます。

新型コロナウイルス感染症の流行で活動に制限や配慮が必要な状態ですがみんなが笑顔でいられますよう努力していきます。

総括主任 安藤 伸哉



## けやきの家

～けやきの家 20周年を迎えて～

こんな混沌とした時だからこそ、「気持ちを強く前向きに。」

私たちは「福祉のハート」をひとり一人が大切にしています。

そして、私たちの仕事は「人の力になれる仕事。」

それは「自分の力となれる仕事。」「人」という字は、「互いに寄り添い、支えあいながら生きる」という意味を持つ。私たちはそんな「人」になりたいと願います。

何が起ころうとも、心が折れそうな時だって、どんなときも立ち上がる。

「みんなの“ハート”をあつめて。私たちにしかできない、

私たちだからできることを!!」

そんな“ココロ♡”を持って進みます。

“KEYAKI PRIDE”

～けやきの家職員一同～



## みずほの家

みずほの家では、栃木特別支援学校を卒業された利用者の方とフレッシュな職員1名が加わり、新年度がスタートしました。先ず、健康と安全を第一に過ごしたいと思えます。

今年度は作業内容の見直しを行い、利用者の皆さんが楽しく過ごせるよう

外出等の機会を増やしたいと考えてい

ます。ちょっと蔵におきましては、いつ

もご利用して頂きありがとうございます。

これからも、焼きそば、イモフライ

等心を込めてお届けいたします。

お弁当や出店のご依頼もお待ちしております。 課長 秋山 阿津子



## みんなの部屋①



桜の木の壁面を作りました。  
花には一人ひとりの願い事が書かれています。



もくせいの里のアーティスト!!  
将来がたのしみ。



利用者さんと一緒に  
マスクを手作りしました。



私ね、焼きそば、大好き～♡



このマスクで、  
コロナをやっつけるぞ～



ほくは、きかんしゃトーマス  
が大好きで～す!!



## 『力を結集し難局を乗り越えよう』



《 理事長 岩崎 俊雄 》

新型コロナウイルスの感染増加に対する緊急事態宣言が全国に発令され、テレビ、新聞等のマスコミは、連日連夜にわたり時間、紙面を割いて報道し続けています。栃木県内では、今のところ爆発的な感染は無いものの、首都圏への通勤客も多く、今後の感染拡大が心配されます。

このような中にありますが、今年も、新規採用者、登用者、経験者等多くの仲間を迎え、4月1日に辞令交付式を行いました。以前にもお話ししたと思いますが、統括会計責任者である妻同様、今年には福祉の専門大学を卒業して50年という節目の年にあたります。当時は、学生による大学封鎖が相次ぎ、原宿にあった母校も封鎖され、学位授与式・卒業式等はありませんでした。今年も、コロナの影響で、多くの学校では関係者のみによる簡素な式であったように聞いています。

そんな共通の経験がある誼から、歓迎の理事長訓示は、昔話をいたしました。東京での公務員生活から妻の実家である栃木に移り住み、障害児を持つ多くの保護者のお力と地域の皆様のご協力、27歳にして社会福祉法人を立ち上げて以来、今日まで馬車馬のごとく無我夢中で福祉の道を走り続けてきました。そんな私どもの行先を常に導いてくれたのは、障害を持つ方々とその保護者の皆様でした。

「もっと仕事がしたい、給料が欲しい」という就労支援の抜本的強化と工賃支給の声、「俺、仲間のみなと住みたい」という共同生活のためのグループホーム整備の声、「訓練はいつまで続くの?」という重い障害を持つ方々の生活施設制度化の無言の声、そして、できる限り地域での生活を続けるためのトータルサポートシステム確立の声、等々すぎのこ会をここまで導いてくれたのは、当事者の皆様の『声なき声』であったと実感しています。そして、それが現在の障害者福祉の主流になってきています。

相前後して、嬉しいニュースが飛び込んできました。介護福祉士の国家試験に4名の職員が合格したとの知らせです。4名とも仕事の合間に勉強して、晴れの合格を勝ち取ったのです。4名の内3名は準職員、1名は4年前に高校を卒業した若い職員です。

利用者本位の、安全で安心できる安定した質の高いサービスの提供、利用者に寄り添ったサービスの提供という法人の理念実現を目指し、コツコツと地道に勉強を続ける熱意のある職員、そして、そんな職員となることを志す多くの新人を迎え、勇気が湧いてきました。感染症コロナなどに負けることなく、みんなの力を結集しこの苦難を何としても乗り越えなければならない。福祉の現場で50年という節目の年度を迎え、これまで本会に寄せられたご恩に報いるべく、心を新たにしています。



# 辞令交付式

4月1日(水)、もくせいの里別館において、新採用職員10名、経験者採用職員2名、正規登用職員5名の辞令交付式が行われ、理事長から一人ひとり辞令をいただきました。緊張の中にもこれからの意気込みが感じられ、皆さん素晴らしい顔をされていました。

理事長からの「訓示」、また常務理事から仕事をしていくうえでの「心構え」などのお話もあり、最後に、小雨の降る中、法人の慰霊碑を参拝し先輩方にも挨拶してきました。



すぎのこ会職員一同、「新しい風」となる職員とともに、この先も頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 職員リレー



今号は、「もくせいの里」です

今年で12年目の勤務になりました。支援に悩むこともありますが、利用者さんの笑顔に癒されながら楽しく仕事をしています。

支援主任(サービス管理責任者)  
川口 美江



平成12年に入社してから20年目となります。利用者さんの笑顔に元気をもらい、保護者さんに支えられ、先輩職員に励まされ、現在の自分があります。そんな沢山のご縁にただただ感謝です。

庶務課長 渡辺 敬江

入社して17年目、太平山の麓、自然豊かなもくせいの里で皆さんと過ごす日々です。何気ない毎日こそ大切にしていきたいと思えます。

統括課長 佐藤 和孝



もくせいの里の支援・療育課の担当をしています。放課後等デイは中高生対象ですので、現場では私も中高生に戻った気分で楽しみながら支援をしています!

総括主任 梅澤 要一



やまと生活介護「つばさ工房」では、「生きがい活動」として、マスクの製作販売を始めました。利用者さんと職員が、丁寧にお作りしています。1枚300円です。どうぞ、お問い合わせください。



## すぎのこ会を守る会

あすひに通い始めて4年目を迎えました。関係者の皆さんに支えてもらい、毎日元気に通うことができます。各行事や日中の余暇活動など、計画的に作業やウォーキングをはじめ、1回/月の誕生会で調理実習などを実施してくれています。その時の様子を写真に撮り、新年会等でスライド上映で見せてくれます。これを見ると、日常の過ごし方やイベント時の息子の様子が分かり、親としても嬉しくなり安心できます。

職員さん達は、息子達のために一生懸命に頑張ってくれて、本当に感謝しております。

朝倉 興太郎

## 事業報告



### ～地域共生社会の実現に向けて～ 第2回 心のバリアフリー 推進イベント

令和2年2月9日(日)、栃木市岩舟健康福祉センター 遊楽々館にて、障がいがある人もない人も共に生きる社会の実現を目指し、差別や偏見をなくして障がい者の気持ちに寄り添いサポートをする『心のバリアフリー』推進イベントを開催しました。

パネルシアター、映画上映「蹴る」、キックターゲット、福祉機器体験、利用者作品展示&販売、縁日コーナーと、皆のあたたかな心があふれた有意義な一日となりました。ご協力ありがとうございました。



## ボランティア・寄付

日本財団様より助成を受け、日産セレナを整備いたしました。安全運転に心がけ、日々の利用者さんの笑顔につながるように努めてまいります。ありがとうございました。



### 【ボランティア関係】

- 宮原晶子様 ・ヘアサロン セゾン様 ・訪問理髪 ゆう&みい様
- NPO法人 オアシス様 ・各施設・事業所保護者の皆様

### 【寄付関係】

- 藤野正勝様 ・前田英雄様 ・白石 理様 ・大塚洋子様 ・岩本久子様
- 中野好雄様 ・佐山ミヨ子様 ・鈴木吉男様 ・松本様ご家族
- 岩崎俊雄様 ・岩崎 操様 ・Abakat (アバカット) 様 ・(株)Reiwa様
- 栃木市社会福祉協議会岩舟支所様 ・すぎのこ会を守る会様 ・安藤設備工業(株)様
- 古河あこのころ会様 ・古河電気工業労働組合日光支部様
- UACJ労働組合日光支部様 ・シニアクラブ連合会岩舟支部様

